# 連結式ダンボールブロック　積ンデコ




# 取扱説明書



この度は、連結式ダンボールブロック「積ンデコ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、ダンボール素材の特性を十分にご理解いただいた上で、事故が起こらないよう、説明に従って正しく安全にご使用ください。
尚、この取扱説明書はすぐに取り出せる所へ大切に保管し、必要な時にお読みください。
⚠マーク付の説明は、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



**警告**　この表示を無視して誤った取扱・使用をすると、使用者が死亡・重傷を負う危険が想定される内容を表しています。



**注意**　この表示を無視して誤った取扱・使用をすると、使用者が傷害を負う危険や製品が破損する恐れがある内容を表しています。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

万一、商品に不備や不都合な点がございましたら、下記までご連絡ください。自分の判断で、補修等はしないでください。


製造・発売元：株式会社 紙源　http://www.shi-gen.net
〒116－0014　東京都荒川区東日暮里2－28－11－301
電話：03－6806－7675　FAX：03－6806－7695

## ■組立（連結）について

●周囲の安全を確認し、周囲に危険な物がなく、できるだけ広いスペースで組立（連結）作業をしてください。
※なお、商品は1つ1つ手作りになりますので、細部の仕上げの違い／ミリ単位のサイズの誤差／グラム単位の重量の誤差等が生じる場合もございます。予めご了承ください。

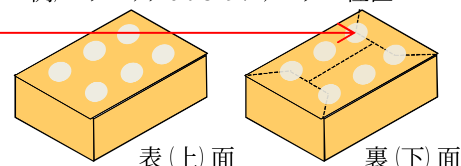

**注意**

●表面仕上げがダンボール素材で多少柔らかいため、指先に力を入れすぎて商品を握ってしまうと跡が残ったり、凹んだりする可能性がありますので、ご注意ください。
**（スベリ止め付の軍手等を使っていただくと、よりスムーズに組立作業を行うことができます）**




●積ンデコの表裏（上下）面には、連結用のファスナーが付いています。
※ダンボールシートを貼り合わせた跡がある面が裏（下）面になります。

例）　ブロック30Sのファスナー位置

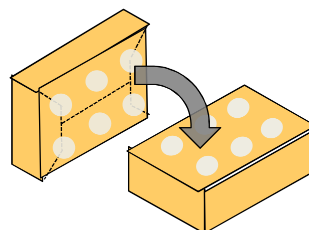




**注意**

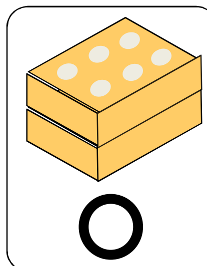
●表面と裏面ではファスナーの材質が異なりますので、必ず表面を上向き、裏面を下向きにして組立（連結）してください。

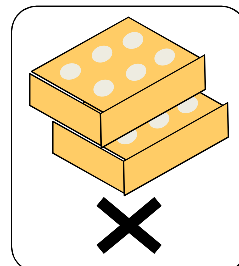
※表面同士・裏面同士ではファスナーは連結しませんのでご注意ください




**注意**

●ファスナーの位置をしっかり合わせて組立（連結）してください。ファスナーの連結が不完全な場合、商品やモノが落下してケガをする恐れがあります。

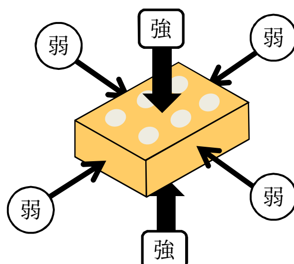


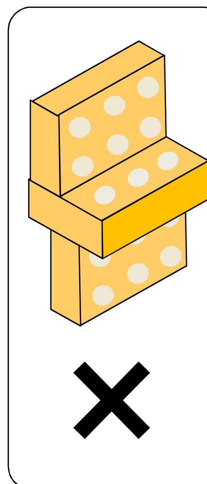



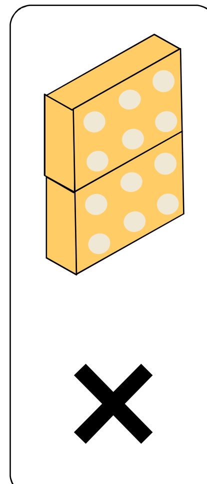


**警告**

●この商品は、内部構造特性上、表裏（上下）面方向からの荷重に対しては強くなっていますが、側面方向からの荷重に対しては弱いので、側面を利用して組立たり、使用したりしないでください。
商品自体が破損したり、モノが落下してケガをする危険があります。

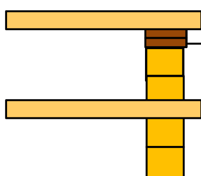




**警告**



室内でのご使用の場合天井とブロックの隙間を<u>専用パット</u>で埋めること

地震対策上、または使用中に下の方のブロックをけったり足をひっかける等が発生した場合に、パットを埋めていないとブロックが倒れる恐れがあります。

## ■使用方法について

| | |
|---|---|
| 注意 | ●屋外・お風呂場・台所など、商品に水のかかる可能性が高い場所や<br>湿気が多い場所には設置しないでください。 |
| 注意 | ●平らな場所を選んで設置し、ご使用ください。 |
| 注意 | ●直射日光、熱、火気、冷暖房器の強風等が直接あたる場所には<br>設置しないでください。変色・収縮・破損の原因になることがあります。 |
| 警告 | ●表示されている耐荷重（取扱説明書、組立説明書等参照）を超えるモノをのせたり、過度の荷重を<br>かけたり、商品によりかかったりしないでください。商品が転倒・破損してケガをする恐れがあります。 |
| 注意 | ●モノをのせる場合は、荷重が1点に集中しないように、均等にのせてください。<br>また商品の安定性を増すために、過重なモノはできるかぎり下のほうにのせるようにしてください。 |
| 注意 | ●商品の上に、高価な物品、壊れやすいモノ（ガラス製品、陶器など）、落ちたときに人に当たると<br>危険なモノ（刃物、工具、鋭利なモノ、重くて硬いモノなど）をのせないでください。 |
| 注意 | ●表面仕上げがダンボール素材で多少柔らかいため、商品に座ったり、1点に過重なモノを置いたり、<br>しないでください。表面が凹んだり、変形したりする可能性があります。 |

## ■取扱方法について

| | |
|---|---|
| 警告 | ●商品を投げたり、高い位置から落としたりしないでください。ケガや商品・モノの破損の原因となります。<br>●お子様が使用する場合には、取扱説明書の内容が理解できる方が、設置等サポートしてください。 |
| 警告 | ●商品の上にのったり、とび跳ねたり、踏み台として使用したりしないでください。<br>安定を崩して転倒し、ケガや商品・モノの破損の原因となります。 |
| 注意 | ●表面仕上げがダンボール素材のため、水・湿気／熱・火気に弱いという特性がありますので、<br>設置環境や保管方法等には十分注意してください。 |
| 注意 | ●鋭利なモノで穴や切り込みを入れたり、硬いモノを突き刺したり、粘着力の強いテープを<br>貼った後で強引にはがしたりしないでください。 |
| 注意 | ●ファスナーを切り取ったり、はがしたり、別素材のモノとつけかえたりしないでください。<br>●加工、改造をしないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。 |
| 注意 | ●連結している商品を必要以上の力で強引にハズす。または、連結したりハズしたりを何度も繰り返す行為は、 連結用ファスナーが取れたり、裏面のダンボールの貼り合わせ部分がはがれてしまう可能性があります。<br>連結作業は、目的に応じた適切な頻度で行っていただきますようお願いします。 |
| 注意 | ●設置場所を移動する場合は、連結をハズして（分解して）、持ち運びしやすい大きさにしてから、移動するよう注意してください。組み立てたままの状態で移動すると、連結が外れたり、安定を<br>崩して、ケガをする危険があります。 |
| 注意 | ●使用条件により設置したブロックが、室内乾燥、多湿などにより安定的におちつくまで調整が必要な場合<br>があります。<br>※紙の特性上、特に冬場の室内の場合は乾燥し、縮む傾向があります。 |
| 注意 | ●デスクやテーブルとして使用する場合は、デスクマットなど天板表面を保護するモノを敷いてご使用ください。<br>表面仕上げがダンボール素材で多少柔らかいため、手やひじをついた跡が残ったり、シャープペンシルや<br>ボールペンの先端があたって穴があいてしまう可能性があります。別途販売の専用マットをお勧めします。 |

## ※補足（耐荷重について）




●天板や床板など、面全体に均等に荷重がかかったときに耐えられる荷重のことを耐荷重の数値として算出しています。尚、表記の耐荷重は絶対値ではなく目安の数値としてお考えください。

●使用する面（天板）の耐荷重は、ブロック・ボードの組み合わせにより異なります。
次にいくつかの組み合わせパターンでの天板（面全体）の耐荷重を表示しておりますので、ご確認ください。

| パターン① | ボード30S　面全体の耐荷重　：最大120kg |
|---|---|

ボード30S
H：385mm
ブロック30S×2個
ブロック30L×2個

| パターン② | ボード60L　面全体の耐荷重　：最大100kg |
|---|---|

ボード60L
H：680mm
ブロック60L×6個

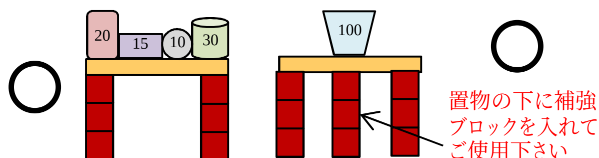
| パターン③ | ボード30S　面全体の耐荷重　：最大30kg |
|---|---|
| | ボード30L　面全体の耐荷重　：最大40kg |

ボード30S
ボード30L
H：970mm
補強ブロックを入れてご使用下さい
H：485mm
ブロック30L×8個

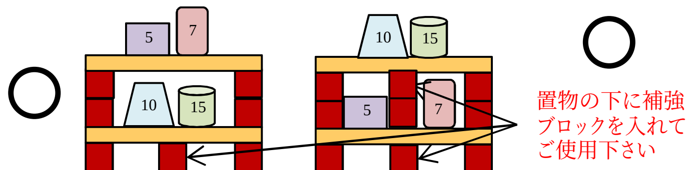
| パターン④ | ボード30L①　面全体の耐荷重　：最大25kg |
|---|---|
| | ボード30L②　面全体の耐荷重　：最大40kg |

ボード30L①
ボード30L②
H：580mm
H：1260mm
ブロック30S×2個
ブロック30L×10個

天板（面）全体に荷重を分散する　（図例）天板の耐荷重が100kgの場合




複数段の棚の場合、重いモノは下、軽いモノは上に置く　（図例）2段の棚として使う場合




## ■お掃除・お手入れ、リペアーについて

●日常の掃除・お手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。水分を含んだ雑巾や布等を使うと、紙のハガレや色落ちの原因となります。

●リペアー（張替・シール）及び付属のオプション商品につきましては、当オフィシャルサイトをご参照ください。